



「テイル」形と「タ」形の派生アスペクト「パーフェクト性」と
インドネシア語の機能語 *Sudah* と *Telah*
*Derivative Aspectual Meanings of Perfect on -teiru and -ta Forms in Japanese and
Meanings of Function Words 'Sudah' and 'Telah' in Indonesian Language*

Nandang Rachmat

Faculty of Cultural Sciences, Padjadjaran University, Jatinangor, Indonesia
nanra_unpad@yahoo.com

ABSTRACT

The basic meaning of the morphological aspect of Japanese is the opposition between the form *-ru/-ta* which expresses perfective, and *-teiru/-teita* which expresses imperfective. Also there are perfect meanings which derive from the basic meaning of *-ta* and *-teiru/-teita* forms. They refer to the fact that a certain result or effect of previous activity remain at a certain point of time. In Indonesian function words *sudah* and *telah*, which are generally considered as perfective markers, can often be the equivalent of perfect meanings in Japanese. Therefore, it is necessary to clarify the differences between perfect aspect meanings in both languages mainly regarding the use of words *sudah* and *telah*. This paper aims to explain perfect meanings in Japanese and Indonesian through the use of *-ta*, *-teiru*, *-teita* forms and function words *sudah* and *telah* by contrastive analysis. The analysis showed that the perfect meanings cannot be fully matched with the use of *sudah* and *telah*. They are not interchangeable because of differences in aspectual, modal, and contextual meanings. Some of them are expressed without using *sudah* or *telah* at all. *Sudah* means ingressive aspect, and refers to the result or effect of previous activities. As modal meanings, *sudah* indicates two things, that the speaker possesses predictions about a future event and the speaker's attitude to provide the hearer information. *Telah* means completive aspect. It does not refer to the meaning of the effect of a previous activity, therefore it can not function as taxis on future perfect aspect.

KEYWORDS

Aspectual; Contextual Meanings; Indonesian; Japanese; Modal; Perfect Aspect

ARTICLE INFO

First received: 19 July 2019

Final proof accepted: 01 December 2019

Available online: 29 December 2019

研究の背景と目的

日本語の形態論的アスペクトの基本的意味は完成相 (*perfective*) の「ル/タ」形と継続相 (*imperfective*) の「テイル/テイタ」形の対立であるが、「テイル・テイタ」形と「タ」形の派生的意味としてパーフェクト相 (*perfect*) がある (工藤 1995)。パーフェクト相は従来「完了の

アスペクト」と言われることが多かったが、本稿は工藤 (1995:40) の見解に従いパーフェクト相ということばを用いることにする。

パーフェクト相は、「少し前までここに誰か座っていた」のように、過去の (先行する) 運動の結果や効力が、ある時点 (設定時点 *reference time/RT*) で残存していることを表わす。上記の例では、「ここ」にはもう誰も座っては

いないが、座面がまだ温かいこと等から、少し前まで誰かが座っていたことが分かるという意味になる。先行する運動の結果や効力の残存の仕方の違いで、パーフェクト相は「状態パーフェクト」と「動作パーフェクト」とに分かれる。状態パーフェクトは設定時点で運動の直接の結果が顕在的であるもので、「結果継続」と同義である(工藤 1995)。一方、動作パーフェクトは運動の効力はあるが、結果の顕在性は前面に出ていない(cf.工藤 *ibid.*)。上記の例では「座る」という動詞は直接の結果を残さないが、座面が温かいという「広義の結果」が残っているため運動パーフェクトということになる。

さらに、動作パーフェクトと状態パーフェクトは、それぞれが設定時点(RT)の違いによって、過去パーフェクト、現在パーフェクト、未来パーフェクトに分かれる。テンスが発話時(ST)と出来事時(ET)の関係の表現であるのに対し、パーフェクト相は、過去、現在、未来のある時を基準としての出来事を表現するという、アスペクトとテンスが複合した時間表現である(工藤 1995:40)ため、第二言語の習得上比較的难度い表現にはいると思われる。

習得を難しくしている原因のひとつは、パーフェクトが「テイル・テイタ」形と「タ」形を用いて表わされ、独自の形式を持たないことである¹。特に現在パーフェクトの「タ」形の場合にはより難しい。それは、「テイル」形の「彼女は結婚しているよ」が「状態パーフェクトの現在パーフェクト」であることが明らかであるのに対し、「彼女は昨日結婚しました」の「タ」の場合は現在パーフェクトなのか、完成相(perfective)なのかの判断がよりコンテキストに依存するからである。

一方、タクシス(時間的關係を示すテキスト機能)として機能するパーフェクトの習得は、文の構造というコンテキスト情報があるため、比較的容易だと言える。タクシスとしてのパーフェクトとは「2年前彼に会ったときには、彼はこの家に住んでいた」(状態パーフェクトの過去パーフェクト)のように、住み始めたことが、話者が彼に会ったという設定時点に先行していることを表わしている。

上述のようにパーフェクトは、発話時(ST)と出来事時(ET)に設定時(RT)が加わって、RTに対してETが先行するだけでなく、先行して起こった運動(出来事とRTも結びついている(工藤 1995: 97)表現である。では、上記の日本

語のパーフェクト文をインドネシア語で表現するとどのようになるのか、以下の(1)と(2)、および(3)と(4)でそれぞれ対照してみよう。

- (1) 彼女は結婚しているよ。
- (2) Dia sudah menikah.
3機能語 結婚する
- (3) 2年前彼に会ったときには、彼はこの家に住んでいた。
- (4) Ketika saya bertemu dengan dia 2 tahun yang
とき 1 会う に 3 2 年関係詞
lalu, dia sudah tinggal di rumah ini.
前 3機能語 住むに 家 これ

(1)は「状態パーフェクトの現在パーフェクト」である。この意味を表わすインドネシア語には機能語の *sudah* が使われている。(3)は状態パーフェクトの過去パーフェクトである。RTである2年前時点で、「彼がこの家にすでに住んでいた」という意味を表わすのに *sudah* が必要となる。

パーフェクトの意味をインドネシア語であらわす場合、機能語 *sudah* と *telah* が多く用いられ、代替性があると考えられることもあるが、(1)と(3)の日本語に対応するのは、*sudah* だけである。(3)では、コンテキスト的にも話者の関心は「自分が彼に会う以前に彼が住み始めていた」という起動的意味にあるので、*telah* ではなく *sudah* が用いられると考える。

日本語パーフェクト表現の中には、逆に、*telah* は対応するが *sudah* は対応しないという場合もあれば、そのどちらも対応しない場合もある。インドネシア語の機能語 *sudah* と *telah* の違いは、統語的ふるまいの違い、話し言葉と書き言葉の違い、フォーマリティーの違いなどが指摘されてきているが、代替可能と考えられる例もあることからなお議論が続いている。

パーフェクトは「テイル・テイタ」形と「タ」形の派生的意味であるため、コンテキスト的説明が必要とされることが多い。一方、インドネシア語の *sudah* と *telah* については Grangé (2010) が、統語的、意味論的に分析すると、ほとんどのコンテキストで両者は同義ではないと述べているので、こちらもコンテキスト的説明が必要となる点では同じである。

本稿では、*sudah* と *telah* の機能の違いは日本語のパーフェクトとの対照によって明らかにできると考える。だが、インドネシア語文法では *perfective* という用語は一般的に用いられるが、*perfect* は用語としても概念としても知られていない。本稿では *sudah* と *telah* にはアスペクト的、モーダル的、コンテクスト的な違いがあると考え、日本語のパーフェクトの意味との対応を分析する。それにより、双方のパーフェクト性の違いを明らかにしたい。

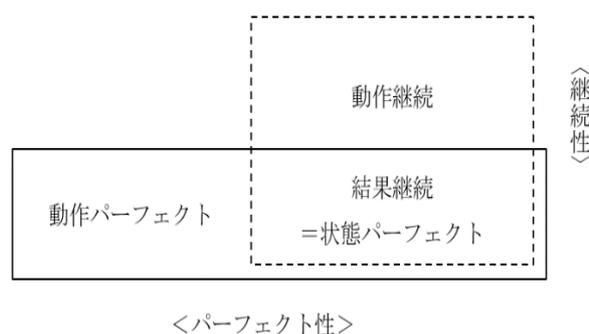


図1: 継続性とパーフェクト性.

理論的枠組み

アスペクト的意味としてのパーフェクト

日本語のアスペクトは、「ル/タ」形が表わす完成相 (*perfective*) と「テイル/テイタ」形が表わす「継続相」 (*imperfective*) とからなる形態論的アスペクトが基本的アスペクトである。テンスは、発話時と出来事時の外的時間関係を示す概念だが、アスペクトは出来事の時間的展開の様態に関わる内的時間関係の概念である。完成相が「運動をひとまとまりで捉える」のに対し、継続相は「運動を継続的に捉える」ものである。タクシス機能的には完成相は継起性を、継続相は同時性を表わす。

パーフェクトは「テイル/テイタ」形と「タ」形が表わす派生的意味で、先行する運動の結果や効力が、ある時点（設定時点 *reference time*/RT）で残存していることを表わす。パーフェクト相は、先行する運動の結果や効力の残存の仕方の違いで、「動作パーフェクト」と「状態パーフェクト（＝結果継続）」とに分かれる。下の図1は継続性とパーフェクト性の関係を図式化したものである。水平方向がパーフェクト性を表わし、垂直方向が継続性を表わしている。動作パーフェクトの中で、顕在的な結果（狭義の結果）が残っているものが状態パーフェクト（＝結果継続）、広義の結果・効力が残っているのが動作パーフェクトである。結果継続ではない、動作が継続しているものは動作継続である。

パーフェクトには従来「完了」という用語が当てられることが多かった。これに対し工藤（1995: 40）は、「完了という用語は、正確な規定をしないうままあまりに曖昧に使われてきているばかりでなく、『過去』という用語と対をなして、アスペクト的把握とテンス的把握との相互排除性（切断性）を、根底において認めている」としてアスペクトとテンスの複合性を認める概念であるパーフェクトを用いている。本稿では工藤に従って、パーフェクトという用語を用いる。

機能語 *Sudah* と *Telah*

インドネシア語文法では *sudah* と *telah* は時間副詞とされることもあるが、専門家の間ではアスペクトマーカであるという考え方が大勢となっている。Tadjuddin（1993）ではこれらを補助詞 (*kata bantu*) としている。本稿では *sudah* と *telah* を内容語ではなく機能語と考える。*sudah* と *telah* は統語的に動詞に前置するケースが多いが、形容詞にも前置する²。また、*sudah* は単独で文を構成することもできる。

機能語 *sudah* と *telah* が表わすアスペクトについてはまだ一致した見解はない。アスペクトの研究は外国語と対照することで新しい知見が生まれる可能性がある。ロシア語のアスペクトに対応するインドネシア語のアスペクトを研究した Tadjuddin（1993:182）は *sudah* と *telah* について *perfective* であるとの見解を示している。岡（1996）が指摘するように、ロシア語のアスペクトは *perfective* と *imperfective* の対立で、日本語のようなパーフェクトはないので、Tadjuddin の上記の見解にも影響している可能性もあろう。Tadjuddin はインドネシア語の機能語の詳細な分析をしているが、扱っているアスペクトの種

類にパーフェクトは含まれていない。

以下に Tadjuddin の見解をさらに少し詳しく引用してみたい。Tadjuddin は *sudah, telah, baru, selesai, usai, habis* の 6 語が *perfective* に対応し³、*telah* と *sudah* は *imperfective* の意味も表わすが、両者はアスペクト性において異なるとする。*sudah* と *telah* は起動相 (*ingressive*) と一回性 (*semalfactive*) を表わすが、*sudah* の起動相が状態動詞の他動詞 (*sudah memiliki* 持っている)、及び非他動詞 (*sudah sadar* 覚醒した) と共起できるのに対し、*telah* は状態動詞 (*telah mencintai* 愛した/愛していた) とだけ共起できる (Tadjuddin 1993:183)。

一方、*sudah* と *telah* が非状態動詞 (動作動詞と非動作動詞) と共起した場合については、*sudah* はコンテキストによって起動相 (*ingressive*) と完結相 (*completive*) の意味を表わすとする。その説明で Tadjuddin が掲げている例文のうち「*sudah tidur* もう寝た/寝ている」は日本語の状態パーフェクトにあたり、「*sudah membaca* 読んだ/読んでいる」は動作パーフェクトにあたる可言えよう。*telah* については Tadjuddin は、「*telah tidur* (もう) 寝た/ねてしまった」と「*telah membaca* 読んだ/読み終わった」のような完結相 (*completive*) のみを表わすと説明する。上記の日本語訳にも示したが、そのインドネシア語の例文に対応する日本語文のアスペクトは、準アスペクトの「てしまう」や「～終わる」のような派生動詞のアスペクトであるとも考えられるが、コンテキスト条件を明らかにしたうえで論じなければならない。本稿ではこれらの準アスペクトは扱わない。

Grangé (2010) は *sudah, telah, pernah, sempat* の 4 つは「*perfective* のアスペクトを表わすとしばしば思われてきた」と述べたうえで、この 4 つの「文法的形態素」が一つのアスペクト (*perfective*) を表わすのに使えるということに驚きと疑問を呈し、それらのマーカのアスペクト的意味にはニュアンス以上の何かや、様々なモダリティの意味も含まれていると主張している。

Grangé は、特に頻繁に使用される *sudah* と *telah* については *perfect* マーカーであり、同義語ではないとする。本稿は、筆者がナンダン (2000) で主張したように、*sudah* と *telah* はパーフェクトのマーカーであると考え。そして、パーフェクトの意味を表しながら、話者のモーダルな意味も表わすものであると考える。

ところで、一般のインドネシア語母語話者には *sudah* と *telah* の機能の違いは分析的に理解されてはいない。これは、大学レベルの日本語学習者においても同様である。*sudah* と *telah* は日本語のパーフェクトと類似点もあり相違点もあるので、その機能を理解することが日本語パーフェクトの習得にも役立つのではないかと思う。

そこで、両者の違いを一般向けに説明したサイトやメディアでの説明を確認しておくことも今後の議論の参考になると思われる。まず、教育文化省管轄の中部ジャワ州の言語センター (Balai Bahasa Jawa Tengah) のサイトの説明 (2010) では、「*sudah* は *telah* と代替可能だが、その逆が可能とは限らない」とし、代替可能なのは「設定時点以前の先行する動作の継続を表現するとき」であり、*telah* が *sudah* と代替不可な場合とは、「気持ちが落ち着く (*tenang*) のような状態動詞と共起した時である」と説明している。そして、「このことは、話者の主観性を表わす叙述に *telah* を用いることができないことを示唆している」と結論付けている。つまり、他者の心理状態についての主観的叙述に *telah* は用いることができないという見解である。そして最後に、「両者は同義語ではあるが *sudah* が主観性を、*telah* が客観性を表わすので代替することができない」としている。

上記の見解では、代替可能なのはパーフェクトを表わす場合であり、代替不可なのは、状態動詞 (日本語でいうと感情形容詞があたる) の場合であるということになる。参考になる点は、動詞の種類による共起性についての示唆であるが、感情形容詞を含め人称制約がないインドネシア語では、共起性の可不可を「主観」「客観」で説明することの妥当性には再検討が必要である。

次に西ジャワ州で発行されている新聞 *Pikiran Rakyat* 紙 (2017) に掲載された「*sudah* と *telah* の違いは何?」を見る。同記事では、「修飾語 (副詞) の *sudah* と *telah* は両方とも動作や状態の完結、過去、完了を表わす」として、「*ia sudah/ telah pulang* (彼は帰った)」という例文を挙げて、*sudah* と *telah* の使い方が異なるいくつかの用法を説明している。その中のパーフェクトに関する説明では、*sudah* は、「*mereka sudah bercerai* (彼らは離婚した)」のように、状態 (*status*) により重きを置いているが、*telah* の方は「*mereka telah bercerai*」のように出来事の達成に重きを置いているというものである。こ

のことはモーダルな意味にも関係していて、日本語と対照すると興味深い。

この記事では、さらに機能語の種類についても言及してある。それは、「*ia sudah menikah* (彼は結婚した/している)」と対立するのは状態を表わしている文「*ia belum menikah* (彼はまだ結婚していない)」であるとして、*sudah* と *belum* を対立させている。一方 *telah* に関しては、「*ia telah menikah* (彼は結婚した)」の *telah* に対立する文は未来の出来事に言及することに重きがある「*ia akan menikah* (彼は結婚する)」であるとする。この見解は、ナンダン (2000:19) が *akan* をアスペクト的意味の表出には直接かわらずテンポラルな意味を表わす機能語として捉えていることとも通じるところがある。

テンスとの関係

パーフェクト相は、過去、現在、未来のある時を基準としての出来事を表現するという、アスペクトとテンスが複合した時間表現である (工藤 1995:40) ので、ここで日本語のテンスとインドネシア語のテンスの違いについて述べておきたい。インドネシア語の動詞は語形変化しないので、テンスは動詞の語彙内在的アスペクトの意味と、時間副詞、直示的指示詞、限定詞などの働きによってきまる (cf.ナンダン 2000)。本稿では語彙内在アスペクトの説明は省略するが、次の (5)、(6)、(7) で日本語とインドネシア語のテンス表現を比較する。

- (5) 彼はそこに座った/座っていた。
- (6) Dia *duduk* di situ.
3 すわるに そこ
(彼はそこに座った/座っていた/座っている。)
- (7) Dia *akan duduk* di situ.
3 機能語・未来 座るにそこ
(彼はそこに座る。)

(5) の日本語文では「タ」形か「テイタ」形で過去のテンスを表わすが、(6) のインドネシア語文では「そこに」という直示表現やコンテキストによって過去も現在の動作継続も表わす。つまり、過去と現在は無標 (機能語なし) の表現である。一方、(7) の未来の動作を表わすインドネシア語文は有標の表現になり機能語の *akan* もしくは口語的表現の *mau* などが用

いられる。

Alieva, N.F., Arakin, V.D., Oglobin, A.K., Sirk, & Yu.H. (1991:379) は、インドネシア語はテンス的には現在と過去が共に未来に対して対立している言語であるという見解を述べている。以下の図 2 は、そのインドネシア語と日本語のテンス対立の違いを示したものである。インドネシア語のテンスは「現在と過去」が「未来 (有標)」と対立し、日本語のテンスは「非過去」が「過去 (有標)」と対立している。

インドネシア語のテンス対立 日本語のテンス対立



図 2: インドネシア語と日本語のテンス対立。

研究方法

本稿は、アスペクト体系の違う言語を対照するという対照アスペクト論の観点からの研究である。アスペクト体系の異なる言語と日本語の対照の研究は、スラブ系言語をはじめとして、日本語と朝鮮語の動作パーフェクトを対照した岡 (1996)、日本語とインドネシア語を対照したナンダン (2000)、リトアニア語とロシア語を対照した櫻井 (2010) などがある。世界の言語でパーフェクトのアスペクトを持つ言語の数について杉浦 (2011) は、The World Atlas of Language Structure 65 (Perfective/Imperfective Aspect) のデータを引用し「完結相 (*perfective*) と非完結相 (*imperfective*) の対立をもつ言語が 101、もたない言語が 121 とされ、68 (The Perfect) では完了 (*perfect*) の形式をもつものが 108、もたないものが 114 とされている」とし、「完結相と非完結相の対立をもっている言語の中でも、もたない言語の中でも、完了の形式をもつ言語ともたない言語の数は概ね拮抗している」と述べている。

日本語のパーフェクトは独自の形式を持たず、アスペクトとモーダルな意味を持つ。日本語と *sudah*, *telah* のインドネシア語表現とを対照することで、両言語のアスペクト的意味、モーダルな意味の特徴を明らかにする。なお、日本語のテイルのパーフェクトのモーダルな意味の研究

は会話文における研究などがあるが⁴、本稿での日本語のパーフェクトのモーダルな意味は *sudah* と *telah* の意味との対応に関連するものに限定している。分析対象は工藤 (1995)、岡 (1996)、Grangé (2010)、櫻井 (2010) が挙げた例に筆者自身の作例を加えた 40 個余りのパーフェクト表現のデータである。本稿では、各例文についての引用元の記載は省略した。

結果と考察

この項では、日本語とインドネシア語のパーフェクト性の相違点と類似点を通して、パーフェクト表現について明らかにしたい。データの分析の考察は代表的なものだけにとどめ、結果を表で提示する。

状態パーフェクトと動作パーフェクト

以下では、状態パーフェクト（結果継続）と動作パーフェクトと対応するインドネシア語文での *sudah* と *telah* の共起性を比較する。

状態パーフェクトと *Sudah, Telah*

(8) ~ (10) の日本語文は状態パーフェクトである。(8) と (9) に対応するインドネシア語文は *sudah* のみが共起し、(10) では *sudah* と *telah* の両方が共起する。

(8) 彼女は結婚している。(○*sudah*×*telah*)

(9) 彼女は結婚したよ。(○*sudah*×*telah*)

(10) 彼女は 2 年前に結婚した。(○*sudah*○*telah*)

Sudah は出来事の生起とその状態に焦点がある。また、*sudah* は起動相でもある。一方、*telah* は物事が生起したということそのものに焦点があり、完結的意味を示す。そのことから、(8) と (9) の状態パーフェクトには *sudah* が用いられ *telah* は用いられない。このことから、*sudah* は状態継続を表わすが、*telah* は状態継続を表わさないということが言えよう。

しかし、状態継続の～タの例である (10) では *sudah* と *telah* のどちらも共起できる。(10) の文はタクシス機能の例である。*sudah* を使った場合は、事態が生起することが予測されていたというモーダル的意味が表わされ、*telah* を使った場合には達成の意味が表わされるといった

違いが出る。さらに、*sudah* を用いると、話者の情報提供的な姿勢も示される。

動作パーフェクトと *Sudah, Telah*

次の (11) は動作パーフェクトのテイルの例である。(11) は結婚という状態の継続を表わしているのではなく、ある特定の場所で結婚したということの効力を表わしている。

(11) 彼女はスイスの教会で結婚している。
(○*telah*×*sudah*)

(11) では、動作の顕在的結果が現在見られるかどうかには関知しない。そのため状態が継続していることに焦点がある *sudah* は用いられず、ものごとの達成に焦点がある *telah* を用いる。

動作パーフェクトと「もう」の共起

日本語の動作パーフェクトには～テイル形と～タ形があるが、ここでは、「もう」という副詞の共起に注目してみる。まず、「タ」形の動作パーフェクトと「もう」の共起について述べる。日本語学習者は *sudah* を「もう」と同義であると認識している場合が多いが、動作パーフェクトに「もう」が共起したものとしなないものを比較すると、「もう」と *sudah* の意味機能の違いが分かる。(12) は妻が夫に用意したサラダを食べたかどうかたずねている。インドネシア語文では否定疑問文形式が使われている。

(12)A: サラダ食べた?

Saladnya dimakan gak, Pak?
サラダ.DET 食べる.PAS NEG VOC

B: 食べたよ。
Dimakan.
食べる.PAS

(12) に対応するインドネシア語文では、受身を用いて機能語なしに動作の成否を訊ね、また同様に機能語なしに答えている。日本語の受身と異なり、インドネシア語の受身は動作の完成またはその結果までを含意しないので、受身形であっても動作の達成を意味しないが、先に述べたように、無標の場合は過去か現在の時制なので、夫の答えは「食べた」ことになる。現在食べているところであれば「*sedang/lagi*」という機能語が付加される。日本語の～タ形現在パーフェクトと対照すると、*sudah* も *telah* も付

加されないインドネシア語文 (12) はコンテキスト条件から現在パーフェクトを表わしているということが言えよう。

次に、「もう」と *sudah* との対応を見るために (13) を挙げる。(13) では「もう」が用いられており、これに対応するインドネシア語文には *sudah* が共起する。*sudah* で訊ねられた内容が生起していれば *sudah* を用い、まだ生起していないときには *belum* が用いられる。

(13) A : サラダもう食べた?

Saladnya *sudah* dimakan gak, Pak?

サラダ.DET 機能語 食べる.PAS NEG VOC

B : まだだよ。

Belum.

機能語

B' : 食べたよ。

Sudah.

機能語

日本語の「もう」は物事が生起することが予想されていて、話者が事態の推移の時間的な側面に関心がある場合に用いられる。(13) で「もう」が用いられているのは早く食べてほしいというようなモーダルな意味を表わすためである。*sudah* がこのようなモーダルな意味を表わすことができるかはさらに検討を要する。*sudah* と「もう」とに共通する点として、生起が予想されている事態に用いられるということが言えよう。

次の表 1 は「テイル形」の動作パーフェクトに「もう」が共起した場合のインドネシア語文の *sudah* および *telah* の共起性の分析結果を示したものである。

(14)、(15)、(16) の「もう」のモーダルの意味は、予想より事態の生起が早いことであり、(17) は相手が知らない情報を伝えるというムードがある。(18) の「もう」は情報提供という話者の姿勢から、コンテキストによってはさらに含意を生む。会話文の場合、「そういうわけですので、この件は新しい学長が担当します」というような含意である。一方、*sudah* は事態の起動の意味から「拡張」して、情報を提供する話者の姿勢を示す機能もあると考える。だが「もう」で表現される上記のような含意まで *sudah* が示せるかどうかは今回の分析では明らかではない。

表 1: テイル形「もう」動作パーフェクトとインドネシア語文の *sudah* と *telah* の共起性。

日本語文	共起性
(14) もう <u>寝</u> ているの? (Masa, <i>sudah</i> tidur?)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(15) 彼はもう論文を <u>書</u> いて いる。(Dia <i>sudah</i> menulis artikel ilmiah.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(16) あなたが家庭を持つこ ろには私はもうとっく に <u>死</u> んでいるわよ。 (Saat nanti kau berumah tangga, aku pasti <i>sudah</i> lama meninggal.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(17) 私の父は、ガンで、 もう <u>死</u> んでいます。 (Ayah saya <i>sudah</i> meninggal karena kanker.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(18) 先週もう新しい学長が <u>就</u> 任しましたよ。 (Rektor baru <i>sudah</i> diangkat pada minggu lalu.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>

「もう」と類似した表現に「既に」と「とっくに」があるが、その二つにはタクシス機能的に先行して成立した、または継続している事態を示す意味がより強くある。「とっくに」にはまた、事態が生起してから時間が経ったことを強調するムードがある。工藤 (1995:122) は「すでに、もう、とっくに」と共起することで直接的結果がそこに顕在的にあることを表わすとしているが「もう」は「既に」や「とっくに」と共起することもあるので、別のモーダルの意味が表わされると思う。「帳場さん、お膳はとっくに出ています。(Bapak resepsionis, hidangannya *sudah dari tadi* disajikan.)」という例では、「もう」に置き換えられない意味が表われていると考える。

状態パーフェクト (非タクシス)

次の表 2 は「テイル」形の状態パーフェクトで、タクシス機能を持たない文とインドネシア語文での *sudah* および *telah* との共起性についての分析結果を示したものである。

表 2: 状態パーフェクトとインドネシア語文における *sudah* と *telah* の共起性.

日本語文	共起性
(19) ...あなたは大勢の人に <u>見られている</u> んですよ。 (Soalnya anda saat itu dilihat banyak orang.)	× <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(20) 私たちはここに10年 <u>住んでいる</u> 。 (Kami <i>sudah</i> tinggal 10 tahun di sini.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(21) イワンは <u>働いている</u> 。 教師だ。 (Iwan <i>sudah</i> bekerja, dia guru.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>

(19) の日本語は受け身であることで結果継続の意味になる(工藤 1995)。(19) に対応するインドネシア語文「*Soalnya anda saat itu dilihat banyak orang.*」では、機能語なしにテンス的に過去と結果を表わす。インドネシア語文で *sudah* が用いられないのは結果の継続性が *sudah* の表わす意味に合わないことと、予測された事態の生起ではないためであり、*telah* が用いられないのは「多くの人に見られた」という事態が *telah* の表わす達成や完結の意味に当てはまらないためであると考えられる。(20) と (21) は結果の顕在性、継続性があるので *sudah* が対応する。(21) はインドネシア語のデータ「*Iwan sudah bekerja, dia guru.*」の日本語訳である。

動作パーフェクト (非タクシス)

次の表 3 は「テイル」形の動作パーフェクトでタクシス機能を持たない文とインドネシア語文での *sudah* および *telah* との共起性の分析結果を示したものである。

表 3: 動作パーフェクトとインドネシア語文における *sudah* と *telah* の共起性.

日本語文	共起性
(22) 「山田孝雄は1908年に『日本文法論』を <u>書いている</u> 。」(Yamada Yoshio menulis buku Nihon Bunpouon pada tahun 1908.)	× <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(23) ...昔の文士がどんなことを <u>書いている</u> か、調べてみようと思っ (Saya ingin tahu apa saja yang ditulis para pujangga zaman dulu.)	× <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(24) (荒れた家の中を見て)イノシシが <u>荒らしている</u> な。(Melihat isi rumah yang berantakan) Ini rupanya dirusak babi hutan, ya.)	× <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(25) (検死の結果を見て)「妙なものを <u>食べています</u> な。」(Melihat hasil forensik) “Kok, dia makan makanan yang aneh ya.”)	× <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(26) 「男も女も、青酸カリを <u>飲んでます</u> な」医者は言った。(“Ini laki-laki dan perempuan dua-duanya minum sianida, ya”, kata dokter.)	× <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(27) 豆の様子じゃ、10里位 <u>歩</u> いてるよ。(Melihat lecet di kakinya, dia <i>telah</i> berjalan kaki sekitar 40 km.)	× <i>sudah</i> ○ <i>telah</i>
(28) あのね、その人前に1度結婚しているんですって。 (Dengarin, katanya orang itu <i>sudah</i> pernah menikah 1 kali.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(29) ...私は1年半前に探偵に源太のことを <u>調べさせている</u> んですよ。(...Saya <i>sudah</i> meminta detektif pribadi untuk menyelidiki Genta satu setengah tahun yang lalu.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>
(30) 「 <u>着いてます</u> よ。」係員はあっさり答えた。 (“ <i>Sudah</i> sampai”, jawab petugas dengan tangkas.)	○ <i>sudah</i> × <i>telah</i>

また、Grangé (2010) がパーフェクトマーカとして挙げた *pernah* は、(28) の「その人前に1度結婚しているんですって」の原文のインドネシア語文である「*Katanya, orang itu sudah pernah menikah satu kali.*」に見られるように、*pernah* が *sudah* と共起することで、*sudah* が表わす結果状態がもう継続していないことを表わすので、*sudah* のパーフェクトの意味とは異なる意味機能があるといえる。

また、日本語の「もう」の機能と *sudah* の機能の違いは (30) の例で説明できる。(30) には「もう」がないが、対応するインドネシア語文には *sudah* が共起する。仮に、(30) の例文に「もう」をつけ「もう着いていますよ」とすると、「あなたの予想に反して」というムードが生じてくる。このムードは *sudah* にはない。

パーフェクトのタクシス

タクシス機能として用いられたパーフェクト文との対応では、*sudah* と *telah* の共起性は以下の Ta から Td の4タイプに分かれた。

sudah と *telah* の共起性のタイプ：

- Ta. 《○*sudah*×*telah*》
- Tb. 《×*sudah*○*telah*》
- Tc. 《○*sudah*○*telah*》
- Td. 《×*sudah*×*telah*》

以下ではそのタイプ別に日本語との対応を検討する。パーフェクトの種類は未来パ、現在パ、過去パと略す。動作パーフェクトと状態パーフェクトの別は記さない。

タイプ Ta 《○*Sudah*×*Telah*》

タイプ Ta の共起の特徴として未来パーフェクトがほとんどを占めている。つまり、*sudah* は起動相の意味と効力の残存を表わすので、先行する動作の結果・効力の残存の意味を表わすことができるが、*telah* は出来事の成否に関心があり完結的なので、未来パーフェクトには対応しないといえることができる。

表 4.1: パーフェクトのタクシスとインドネシア語における *sudah* と *telah* の共起性 Ta.

日本語文に対するインドネシア語のタイプ： Ta 《○ <i>sudah</i> × <i>telah</i> 》	パーフェクトの種類
(31) あなたが家庭を持つところには私はもうとつくに <u>死んでいる</u> わよ。 (Ketika nanti kau berumah tangga, aku pasti <i>sudah</i> lama meninggal.)	未来パ
(32) 4.5 年先のことなんか分かるものですか。私の方が先に <u>首になって</u> いるかもしれないわ。 (Siapa tahu keadaan 4-5 tahun yang akan datang. Bisa saja saya yang <i>sudah</i> duluan dipecat.)	未来パ
(33) 恐らく新羅の使者が帰国した時は、中大兄皇子はすでに名実ともに新政の最高責任者の <u>位置について</u> いるのではないか。 (Pada saat utusan dari negara Shiragi tiba kembali ke negaranya, kemung-kinan Putra Mahkota Nakano Ooe no Ouji <i>sudah</i> menempati kedudukan tertinggi di pemerintahan baru baik secara formal dan faktual.)	未来パ
(34) 来年には新しい学長が <u>就任して</u> いるでしょう。 (Mungkin rektor baru <i>sudah</i> diangkat pada tahun depan.)	未来パ
(35) 病院にかけつけたとき、父はもう <u>死んで</u> いました。 (Saya bergegas datang ke rumah sakit, namun saat itu ayah <i>sudah</i> meninggal.)	過去パ

タイプ Tb 《×*Sudah*○*Telah*》

このタイプ Tb は、(37) が現在パーフェクトである以外、すべて過去パーフェクトである。(37) の *telah* は事実の成否に関心がある。(36) の出来事を述べるには *telah* だけ対応し、完結的であって、効力の残存は表現されない。(38)、(39)、(40)、(41) で *telah* のみが共起するのは、このパーフェクトが予測できた事態を表わさないためである。*telah* は動作パーフェクトの過去パーフェクトの訳文にはなるが、効力の残存を表わしてはいない。

表 4.2: パーフェクトのタクシスとインドネシア語における *sudah* と *telah* の共起性 Tb.

日本語文に対するインドネシア語文のタイプ:Tb 《×Sudah○Telah》	パーフェクトの種類
(36) 戦争が始まる前に (までに)、彼は日本に <u>きていた</u> 。(Sebelum pecah perang, dia <i>telah</i> datang di Jepang.)	過去パ
(37) 先週新しい学長が <u>就任しています</u> 。(Minggu lalu telah diangkat rektor baru.)	現在パ
(38) 禅智寺に行ってみると、業行はすでに 2 ヶ月程前に、筆写した経巻類を詰めた箱を数個預けたまま、姿を <u>消していた</u> 。(Ketika mendatangi kuil Zenchiji, Gyougou <i>telah</i> menghilang sekitar 2 bulan yang lalu dengan menitipkan beberapa kotak yang berisi kitab yang disalinnya.)	過去パ
(39) ……この年の 7 月、海老名弾正は家庭内の不幸で転勤できなくなった親友の横井時雄の替りに熊本へ転勤することになり、本郷教会を <u>去っていた</u> 。(Pada bulan Juli tahun ini Ebina Danjou <i>telah</i> meninggalkan Gereja Hongou dan pergi ke Kumamoto untuk menggantikan Yokoi Tokio, teman baiknya, yang mutasi dinasnya tidak jadi karena ada anggota keluarga yang meninggal.)	過去パ
(40) 僕はさっきあなたと別れた後で、初めて彼女とはっきり結婚の約束をしたんです。結婚しろという母の至上命令はとっくの昔に <u>出てはいました</u> 。(Tadi, setelah berpisah dengan anda, untuk pertama kalinya secara jelas saya berjanji kepada dia untuk menikah. Perintah absolut dari ibu agar saya menikah <i>telah</i> lama keluar.)	過去パ
(41) 私が帰郷した時には、父はすでに 3 時間前に <u>死んでいた</u> 。(Saat saya tiba di kampung halaman saya, ayah <i>telah</i> meninggal 3 jam sebelumnya.)	過去パ

タイプ Tc 《○Sudah○Telah》

タイプ Tc は (42) の一例のみである。タクシス的には *sudah* と *telah* のどちらも可能だが、効力の残存の意味は *sudah* にだけあり、*telah* には

ない。

表 4.3: パーフェクトのタクシスとインドネシア語における *sudah* と *telah* の共起性 Tc.

日本語文に対するインドネシア語文のタイプ:Tc 《○Sudah○Telah》	パーフェクトの種類
(42) わかっています。そのお話は、大統領にはたらきかけようとしたときに、既に <u>聞いています</u> 。覚悟はできています。(Saya tahu. Saya <i>sudah/telah</i> mendengar cerita itu ketika kita mencoba melakukan pendekatan pada Presiden. Saya sudah siap untuk itu.)	現在パ

タイプ Td 《×Sudah×Telah》

タイプ Td は (43) 一例のみである。(43) は「いわれた」のが設定時の「食堂を出るとき」と同時であることから、設定時に先行する動作の効力ではないため、*sudah* が使えない。前節と後節ともに完成相 (*perfective*) で表わされ、*telah* の持つ完結性 (*completive*) の意味も適用されない。効力は含意でしか表わされない。

表 4.4: パーフェクトのタクシスとインドネシア語における *sudah* と *telah* の共起性 Td.

日本語文に対するインドネシア語文のタイプ:Td 《×Sudah×telah》	パーフェクトの種類
(43) あとで私の部屋にくるようになって食堂を出るとき、おじいさまから <u>いわれていました</u> 。(Pada waktu keluar dari ruang makan, saya disuruh kakek supaya datang ke kamarnya nanti.)	現在パ

結論

日本語のパーフェクトとインドネシア語の機能語 *sudah* と *telah* の対応を分析した結果、この二つの機能語は日本語のパーフェクトの表わす動作の結果、効力の残存の意味すべてには対応できないと分かった。パーフェクトに対応するインドネシア語文では、*sudah* も *telah* も使われない場合が多い。また、*sudah* か *telah* のどちらかが使われた場合、両者の間にアスペクト的意味、モーダルな意味、コンテクスト的意味の違いが

あり、代替可能ではないことも分かった。本結論では特にアスペクトの意味とモーダルな意味を対照した結果についてまとめたい。

アスペクト的意味の違いとしては、*sudah* は起動相を表わし、生起する出来事の状態性に焦点がある。そのアスペクト的意味から、動作パーフェクトよりも、状態パーフェクトにより近い結果、効果の残存性を表わす。しかし、*sudah* は出来事の前起が話者に予測されていない出来事に対しては、パーフェクトとしてまったく用いることができない。また、タクシス機能としては、*sudah* は出来事の先行性とその結果、効力の残存を表わすことができるので、未来、現在、過去のどのパーフェクトでも対応できる。一方、*telah* は完結相を表わし、動作の成立、達成に焦点があるため、結果、効力の残存には関知しない。そのため、厳密には日本語のパーフェクトの意味は表わすことができず、タクシス機能としては完成相 (*perfective*) 的な同時性を表わす。また、*telah* は先行する動作の結果、効力は表わせないで、未来パーフェクトには対応することができない。

モーダルな意味の観点から見ても、*sudah* と *telah* には違いが見られる。本研究でのモーダルな意味とは、事態の前起が予測されることが起きたことを意味したり、話者の伝達態度として、聞き手が知らないと話者が判断している情報を提供する姿勢を示す。*sudah* の持つ、前起が予測されているというモーダルな意味を *telah* は表わすことはできない。一方、日本語の「もう」には生起することが予測されている運動や状態への推移が、予測より早く起きたというモーダルな意味がある。「テイル」形に「もう」が共起した動作パーフェクトの例で *sudah* が対応しているものがあるが、それは *sudah* に「もう」が持つような、予測される出来事への推移が時間的に早いというモーダルな意味があるからではない。「もう」はパーフェクトの意味にモーダルな意味を付け加えるものなので、*sudah* が可能なパーフェクトのすべてで「もう」を用いることは誤用になるので、そのことも日本語学習者がパーフェクト表現習得において注意すべき点である。

参考文献

Alieva, N.F., Arakin, V.D., Oglobin, A.K., Sirk, & Yu.H.

- (1991). Bahasa Indonesia: Deskripsi dan Teori. (Penerjemah: Pusat untuk Penerjemahan Buku Ilmiah dan Teknik). Moskow, Yogyakarta: Penerbit Kanisius.
- 江田 (ごうだ) すみれ (2011) 『会話におけるパーフェクトの『テイル』の使われ方：現在に関係させる過去の出来事』『日本語教育方法研究会誌』 Vol.18. No.1.pp.12-13
- (2014) 「設定時点が未来の『効力持続』：未来まで広がる『テイル』の用法について」『日本語/日本語教育研究[5] Web版
- Grangé, P. (2010). Aspect and modality in Indonesian The case of *sudah*, *telah*, *pernah*, and *sempat*. *Wacana*. Vol. 12 No. 2. pp. 243-268.
- Iori, I. (2018). A Comparative Study of The Tense-Aspect System Between Japanese and English: A Foundation for A Pedagogical Grammar of Japanese Using Learner's Knowledge of Their Mother Tongues. *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*. 59. pp.1-16.
- 工藤真由美. (1995). 『アスペクト・テンス体系とテキスト：現代日本語の時間の表現』ひつじ書房
- ナンダンラフマツト (Rahmat, N.). (2000). 『日本語との対照におけるインドネシア語のアスペクト表現—語彙的表現手段と形態論的表現手段の関係—』名古屋大学博士論文
- 岡智之. (1996). 「日本語と朝鮮語のパーフェクトをめぐる：シテイル形と {haissda} 形の対応を中心に」『日本語・日本文化研究 第6号』pp71-85.大阪外国語大学日本語講座
- 櫻井映子. (2010). 「リトアニア語のアスペクトとパーフェクト：ロシア語との対照アスペクト論的観点から」『語学研究所論集』第15号東京外国語大学 pp.105-130
- 杉浦滋子. (2011). 「言語におけるアスペクト的意味の表現」『麗澤大学紀要』第92巻. pp.131-146.
- Tadjudin, M. (1993). *Pengungkapan Makna Aspektualitas Bahasa Rusia dalam Bahasa Indonesia: Suatu Telaah tentang Aspek dan Aksionalitas*. Bibliografi.
- 谷口秀治. (1997). 「「テイル」形に関するムード的側面の考察」『日本語教育』92. pp.143-152.

メディア及びインターネットサイト

- Balai Bahasa Jawa Tengah 「Kata sudah dan telah」 28 Juli
2010. www.balaibahasajateng.web.id/index.php/read/home/infobahasa_detail/20/Kata-Sudah-dan-Telah
- Pikiran Rakyat 新聞記事 「Apa Perbedaan Kata Sudah dan Telah?」 4 Mei 2017 [<https://www.pikiran-rakyat.com/hidup-gaya/2017/05/04/apa-perbedaan-kata-sudah-dan-telah-400538>]

Notes:

- ¹: 江田（ごうだ）（2014）は高梨（2013）の研究結果を引用し、「ている」の派生用法に触れている教科書が少なく、「派生的用法には学習者が意識することがないため、結果として、産出に繋がりにくいものがあると指摘している」と述べている。
- ²: *sudah* も *telah* も *bersih, kotor* などの状態の形容詞の前に付くことができる。
- ³: Tadjuddin（1993）は動詞句のアスペクトマーカールという用語を用いている。
- ⁴: テイルのムードについては江田（2011）の会話におけるパーフェクトのムードの研究や谷口（1997）のテイル形のムードの研究がある。しかし、それらのムードは本稿で扱うアスペクト性から生まれるモーダルな意味とは異なる。